

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年11月13日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		児童の活動の動線を考えたうえで、カウンターや机を配置したり、環境の見直しを行ったりして指導室のスペースを出来る限り広く使用できるように心掛けています。	基準を上回る活動スペースを持っています。今後も児童の活動の動線や活動スペースの工夫を心掛け、密にならないように留意し、引き続き消毒や換気を行ってまいります。
	2	○		配置基準を大きく上回る指導員数で運営しており、利用人数に合わせた指導員を配置しています。	利用人数に合わせて指導員を手厚く配置していますが、今後もより良い療育のために、適切な人員の確保、配置を心がけてまいります。
	3	○		児童の活動の動線を考えた環境を整えるよう心掛け、必要な情報は目視しやすい場所へ掲示しています。又、特性に対して聴覚過敏の児童には外部の音が聞こえにくい指導室を利用したり、視覚過敏の児童には視覚情報の少ないスペースを利用したりする等心地よく過ごせる配慮を行っています。現在、車椅子の利用者がいませんが、トイレに行く通路が狭く、玄関に段差があるため、安全面に留意しながら支援を行います。	障がいの特性に対しては、それぞれの児童に合わせた環境を整えて心地よく過ごせるよう継続した配慮を心がけます。当事業所は、テナントであるために完全なバリアフリーにするのは難しいですが、支援が必要な児童には職員が丁寧に留意しながら支援を行ってまいります。
	4	○		児童人数に対して快適に過ごせる広さもあり、整理整頓を行い、毎日掃除・消毒を行って衛生管理を心がけています。また活動内容に合わせて机、椅子を移動して安全に過ごせるスペースの確保を行っています。	今後も清潔を保ち、コロナ感染予防対策のためにも、机、椅子、玩具、車内等の消毒や換気を徹底してまいります。
業務改善	5	○		課題が出た時には、全員で共有して意見を出し合い、最善の方法を考え、その結果も共有し、実践しています。	今後も様々な意見交換を行う場を設けて、全員で共有して意見を出し合いやすい雰囲気づくりを行い、最善の方法を考えてまいります。
	6	○		アンケート結果を基に、保護者様のご意向を把握し、全職員で情報共有を行い、保護者様や児童の意向に沿って業務改善を行っています。	保護者様の貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の業務改善に努めてまいります。
	7	○		COMPASS 発達支援センターの公式 Web サイトで公開しています。	今後も自己評価を行い、その結果を公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。
	9	○		各事業所やグループ全体、外部研修を設けていますが、今年もコロナ禍のために研修は行えず、本所作成の研修動画を視聴し、職員の資質向上を図っています。	本所作成の研修動画の視聴だけでなく、オンラインでの外部研修（動画配信）にも積極的に参加し、職員と情報共有し、更なる資質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	10	○		契約時、モニタリング時にアセスメントを行い課題などを把握し、それを基に計画を立てています。また、家庭連携や送迎時や連絡帳を通して児童の状況、保護者様のご意向を把握するように努めています。	今後もアセスメントを行い、児童の状況・保護者様の意向を適切に把握して、それを基に半年先の目標設定を行った上で支援内容を検討し作成してまいります。
	11	○		全事業所統一で作成、標準化されたアセスメントシートを使用しています。	今後も全事業所統一で作成・標準化されたアセスメントシートを使用してまいります。
	12	○		各支援内容から児童・保護者様に必要な支援内容を選択し、その時の児童の様子・保護者様の意向に沿った具体的なわかりやすい内容を設定しています。	今後もガイドラインを踏まえ、児童の発達段階、保護者様の意向を把握し、支援内容が適切であるかどうかを検討してより分かりやすい目標・支援内容を設定してまいります。
	13	○		支援計画を把握した上で一人一人の支援目標に合わせた個別療育や集団療育を行っています。	今後も支援計画に沿って、個別療育と集団療育を組み合わせて、児童の特性や発達段階に考慮したより良い支援を発達させてまいります。
	14	○		チームで案を出し合い、役割を決め、分担、協力して行っています。	職員の役割、分担を考慮し、児童が楽しめるように趣向を凝らし、支援できるように努めてまいります。
	15	○		職員間で話し合い、季節の行事や療育内容に個別の療育以外にも集団での活動（ルールのある遊び、サーキット運動等）を取り入れて趣向を凝らしています。	今後も活動プログラムが固定化しないよう、職員と話し合いながら季節感を味わえるようにしたり、意欲的に参加できるように工夫したりしてまいります。
	16	○		児童の発達段階や保護者様の意向に合わせて、生活面や学習面の為の個別活動と社会性の為の集団活動を組み合わせた計画を作成しています。	児童の発達段階や、状況を把握し、無理のない個別及び集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成してまいります。
	17	○		毎日のスケジュールや、職員配置役割分担を把握出来るよう打ち合わせをした上で可視化して、共通認識を持って支援にあたるよう情報共有を行っています。	今後も打ち合わせを行い、毎日のスケジュール、支援内容や役割分担についての確認や情報共有を行ってまいります。
	18	○		児童の支援終了後にはその日の振り返りや気付いた点などを報告し合い情報共有を行っています。	今後も振り返りや気付いた点を報告し合い、翌日以降の療育へ繋げられるよう情報共有を行い、共通認識を持って支援出来るよう努めてまいります。
	19	○		毎回の療育内容、気付き、その日の体調や生活状況の変化等も細かく経過記録に記録し、支援の検証・改善に繋げています。	今後も毎回の療育内容の記録を徹底し、支援の検証・改善に繋げられるように努めてまいります。
20	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しています。	定期的にモニタリングを行うだけでなく、必要に応じてモニタリングを実施することで、児童の状況と保護者様の意向に沿った計画へと見直しが出来よう努めてまいります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		児童発達支援管理責任者や管理者が参加しています。	今後も児童の様子を一番理解できている児童発達支援管理責任者や管理者が参加してまいります。
	22	○		各関係機関と連携を図り、こまめに情報共有して共通認識を持って支援を行っています。	今後も関係機関と密に連携を図り、こまめに情報共有し、より良い支援へ繋げていけるように努めてまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		必要に応じて幼稚園や保育所と情報共有と相互理解を図り、より良い支援に繋げられるよう努めています。	今後も関係機関と支援内容の情報共有を行い、児童が移行先でスムーズに有意義な支援を受けられるよう、相互理解を図ってまいります。
	26	○		相談支援を中心とした引き継ぎを行い、支援内容の情報共有と相互理解を図り、就学後へと繋げられるよう努めています。	今後も関係機関と支援内容の情報共有を行い、児童が移行先でスムーズに有意義な支援を受けられるよう、相互理解を図ってまいります。
	27	○		コロナ禍の為市内の感染状況に応じて、各関係機関と連携を図り情報共有を行っています。	今後も関係機関とは積極的に連携を図り、支援の情報共有に努め、共通認識を持って療育してまいります。
	28	○		コロナ禍の為感染拡大予防を懸念して、実施出来ておりません。	コロナ収束後、交流や活動する機会を検討してまいります。
	29	○		コロナ禍の為感染拡大予防を懸念して、自粛しています。	コロナ収束後、積極的に参加する機会を検討してまいります。
	30	○		家庭連携や送迎時等に児童の様子を伺ったり、事業所での様子を伝えたりすると共に、達成したことや課題についての情報共有を行っています。又、保護者様や児童に寄り添うことを心掛け、共通理解を持って療育出来るよう努めています。	今後もあらゆるツールを使用して積極的に保護者様と情報交換を行い、共通理解を持って療育出来るよう努めてまいります。
31	○		保護者様からの相談に対して児童の様子を見ながらその都度適切なアドバイスが出来るとも努めています。又、児童の発達段階から保護者様にご提案やアドバイスも出来るよう努めています。	今後も保護者様のニーズに応えたり、保護者様の対応力向上を図り出来るよう、寄り添う支援を行ってまいります。	
32	○		契約時に重要事項説明書を基に丁寧に説明するように心掛けています。	今後も保護者様に理解して頂けるよう丁寧にわかりやすく説明することを心掛けてまいります。	
保護者への説明責任等	33	○		ガイドラインに基づいて支援計画を作成し、保護者様に説明を行った上で同意を得ています。	今後も適切な支援計画を作成し、保護者様にわかりやすく説明し、同意を得られるよう努めてまいります。
	34	○		家庭連携や送迎時だけでなく連絡帳やお電話でも相談を受けますが、迅速な対応を心掛け、保護者様に寄り添いながら、児童の状況を踏まえて適切な助言・支援を行っています。	今後も保護者様に寄り添いながら、適切な助言や支援が行えるように努めてまいります。
	35	○		コロナ禍の為感染拡大予防を懸念して、実施出来ておりません。	保護者様のご意向を確認すると共にコロナ禍の間はオンライン等で保護者様同士の交流を図れる機会を検討してまいります。
	36	○		苦情窓口を設置して担当者・責任者を選定し体制を整え、申し入れがあった時は担当者が相談内容に応じて迅速な対応を行っています。	今後も迅速・適切な対応を心掛け、早期解決に取り組んでまいります。
	37	○		季節ごとに「COMPASS だより」を発行し、「事業所での情報発信」を行っています。	今後も季節ごとに「COMPASS だより」にて情報発信を行い、保護者様に児童の様子や活動を知っていただけるよう努めてまいります。
	38	○		個人情報の取り扱いは慎重に管理し、書類は施錠できる場所に保管しています。また児童の写真掲載等は、書面にて保護者様の同意を得た上で掲載しています。	今後も引き続き個人情報の取り扱いについては書類は施錠できる場所へについては書類は徹底し、それ以外についても慎重に細心の注意を払ってまいります。
	39	○		児童や保護者様の特性などを把握した上で、口頭だけでなく特性に合わせた方法を使って意思の疎通や情報伝達を行っています。	今後も児童・保護者様の特性に配慮して、的確な意思の疎通や情報伝達を心掛けてまいります。
	40	○		コロナ禍であり感染拡大予防の観点から実施出来ておりません。	今後のコロナ収束後には、保護者様のご意見も伺いながら検討してまいります。
	41	○		各種マニュアルを策定し、防犯に関しては定期的に警察署にも協力して頂き不審者を想定した訓練を実施しています。	今後も必要に応じてマニュアルの見直しを行い、継続的に訓練を行ってまいります。
	42	○		・年間計画を立てた上で定期的に地震・火災・風水害を想定した訓練を実施しています。	今後も年間計画に沿って計画的に訓練を行い、非常災害に対する見直し・改善を行ってまいります。
非常時等の対応	43	○		アセスメントや家庭連携等で必要な情報を把握し、職員と情報共有を行っています。尚、服薬に関しては全事業所統一で作成した投薬依頼書を使用しています。	今後も事前に児童の状況を確認し、安全に配慮して支援してまいります。
	44	○		契約時に確認を行い、アレルギー児童のリストを作成の上、職員と情報共有し、対応しています。	今後も保護者様から得られた情報を職員と共有し、安全に配慮した対応してまいります。
	45	○		ヒヤリハット報告書の作成、保管を行い、職員で話し合う場を設定し、改善・再発防止に努めています。	今後も引き続き記録を作成し、職員で話し合いを行い、改善・再発防止に努めてまいります。
	46	○		事業所内研修にて資料を基に全職員で周知しております。	コロナ収束後には外部研修等、参加できる研修には積極的に参加して虐待防止に努めてまいります。
	47	○		児童発達支援管理責任者や管理者が研修に参加し、職員情報共有を行っています。又、職員研修を行い、虐待防止マニュアルに沿って対応しています。	今後も継続的に研修に参加し、職員に情報共有を行ってまいります。
	48	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	今後も必要に応じてマニュアルの見直しを行い、継続的に訓練を行ってまいります。
	49	○		非常に災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	今後も必要に応じてマニュアルの見直しを行い、継続的に訓練を行ってまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。